

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部



令和五年八月度 入賞句一覧

投句数 六百四十八句

特選

長野 美代子 選

連日の極暑に悲鳴百葉箱

安八郡神戸町 早津 郁男

今年の暑さは殊の外耐えられぬ思いです。三十六度、三十七度とは・・・。地球はどうなつたのでしょうか。心おだやかに俳句を作ることでもできず。スポーツを見ていても心落ち着かぬ思いです。百葉箱も大変です。ね。

白もまた激しさの色滝轟々

養老郡養老町 田中 紫香

白色とは、清潔であり人格品行さわやかなもの思っています。一つには滝のよう激しさも見えて来ます。なるほどと思えました。良い句ですね。

水音も声もさえぎる蝉時雨

大垣市 佐竹 余史美

良い御句ですね。あの小さな蝉が一斉に鳴くと、山も動き出しそうです。水音も声もさえぎるとは・・・。とても感動いたしました。

秀逸

夏館ほどよく瘦せる竹箒

本巢市 小泉 裕子

空蝉を睨む客間の大達磨

大垣市 高田 雅章

日盛や醬の匂ふ通し土間

岐阜市 関谷 恭子

軒先へ押し寄せてくる茂かな

岐阜市 花川 和久

道渡り頭下げる児半夏生

揖斐郡揖斐川町 日下部 周子

炎天下目指すは一つ甲子園

大垣市 竹内 宜雄

哀別の胸にとびこめ流れ星

安八郡輪之内町 野村 照子

父の麦の飯残業の息子へ

養老郡養老町 山田 順子

西瓜採るかかへ諸手を自画自賛

大垣市 田中 雅子

残業の握り飯には汗垂れて

大阪府箕面市 露口 全速

入選

帰り来てまずかぶりつく西瓜かな

石庭の箒目ゆらぐ炎暑かな

めをと旅できる幸せさくらんぼう

雨もよひ梶子白さ深めをり

江戸切子つぐ酒ゆらぐ団扇風

空を見て家族でさがす天の川

梅漬ける母の遺せし石をのせ

まづは袖大いにまくり夏料理

畳みたる日傘のぬくみ小脇にす

空蟬の命抜けたる軽さかな

つゆ草に空のるり色こぼれけり

母散歩待て待て待てと追う日傘

秋高し鳶の描く無限大

風鈴も休みたるコーヒータム

川風を背に梅雨あけの翁像

竹林の梢のさわぐ厄日かな

あいの風路面電車の向かふ先

烏瓜花を紡ぎし午前二時

朝顔や今朝の天気負けぬ色

滝の音孝子の耳をもつて聴く

東京都北区

菱沼 多美子

愛知県名古屋市

館野 茂子

岐阜市

廣瀬 あや子

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

不破郡垂井町

川瀬 慶泉

不破郡垂井町

中嶋 結映

不破郡垂井町

児玉 信子

東京都新宿区

花澤 ちいこ

大垣市

岡田 慶子

福井県敦賀市

山田 美千代

大垣市

後藤 喜美男

京都府宇治市

長村 典子

岐阜市

伊藤 をさむ

大垣市

傍島 隆

大垣市

北浦 典子

岐阜市

関谷 恭子

大垣市

北島 暁子

大垣市

岡田 あや子

大垣市

川瀬 恭子

養老郡養老町

松永 智志

一般の部

選者吟

逆光もまた良し蜻蛉透ける翅

美代子

